

# まちのできごと

## 《日本語常識チェック!》「奇特」

「世の中には奇特な人がいるものだ」という言葉を聞いたことがありますか? 「奇特」は、行いなどがすぐれていて、褒めるに値するさま、けなげなさま、という意味があり、褒め言葉として使われます。

## ふじさとスポーツクラブ

### 交流大会開催

6月24日、7月16日の2日間にわたり、第3回ふじさとスポーツクラブ交流大会が開催され、県北地区から11クラブ106名の参加者が町民体育館に集いました。この大会は、総合型地域スポーツクラブ間の交流と情報交換を目的に2年前からふじさとスポーツクラブが継続して開催しています。

大会では、ラージボール卓球とユニカールの2競技で交流し、心地よい汗を流しながらスポーツを楽しみました。



さあ、結果は?

## チャレンジ!!2015

### 藤里町少年教室開校式

今年度の藤里町少年教室開校式が7月22日に開催され、受講者100名の小学生が出席しました。

今年度の少年教室は、上若コースに14名、志茂若コースに13名、壮士舞コースに4名、高山太鼓コースに11名、将棋コ

スに19名、切り絵コースに26名、茶道コースに12名、絵手紙コースに1名、新設の英語コースに25名の児童生徒が受講します。10月24日、25日に開催される町民祭で作品展や芸能発表を行い、受講の成果をお披露目する予定です。



講師のみなさんを紹介

## 福祉でまちづくり

### 町社会福祉大会

7月25日、総合開発センターにおいて、藤里町社会福祉協議会（成田陽悦会長）による第40回藤里町社会福祉大会が開催され、約300名の関係者、町民が参加しました。

本大会は、メインテーマ「福祉でまちづくり」サブテーマ「生涯現役をめざせる町づくり」として開催され、佐々木町長など来賓よりあいさつが述べられた後、藤里町社会福祉協議会常務理事菊池まゆみ氏が「町民全てが生涯現役を目指すシステムづくり事業」について説明をしました。また、児童生徒からは、地域のために自分のできることを進んで行うようにしたい、積極的に行動し、藤里町の

役に立ちたいと発表がありました。一般の体験発表では、地域おこし協力隊の2人が活動を通して感じたことなどを発表し、参加者は思い思いに耳を傾けていました。



協力隊の2人も発表

## 自然を満喫

### わくわく白神体験塾

7月29日～31日、藤里町ツーリズム協議会主催の藤里町・首都圏児童交流事業「わくわく白神体験塾」が開催され、埼玉県から10名、藤里町内から6名が参加しました。



みんなで流しそうめん